

豊島区労働組合協議会

〒171-0022

豊島区南池袋2-6-8-401

TEL 03-3988-7091

Fax 03-3981-9168

豊島区労協 ニュース

2025年5月16日
第69号

発行責任者 土多松雄

編集責任者 市川康世

mail info@t-kurokyo.com

http://www.toshima

-kurokyo.org

第96回中央メーデー 1万4千人結集

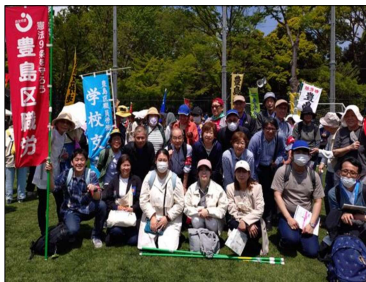
賃上げ・平和・暮らし改善求め行進

5月1日、第96回中央メーデーが代々木公園で開催され会場には1万4千人が参加しました。豊島からは76名が参加しました。

集会では全労連の秋山議長が主催者を代表して挨拶にたち「春闘期での賃上げで多くの組合が1万円以上の引き上げ回答を引き出した。しかし、医療労働者の賃上げが厳しい状況となっている」として政府の責任を追及しました。そして平和とくらしを守ろうと訴え



ました。集会後は3コースに分かれてのデモ行進に移り、北部メーデー実行委員会は今年も代々木コースとなり、豊島区職労の宣伝カーを先頭に、沿道にシュプレヒコールを響かせながら元気に行進しました。【写真】土建豊島デコレーション・豊島実行委員会（写真）



当面の予定

- 5月22日(木)17時40分～
区労協常任幹事会
東部区民事務所
- 5月29日(木)18時30分～
豊島原水協総会
豊島区民センター
- 5月31日(土)13時30分～
東京地評
地域運動交流集会
ラパスホール
- 6月6日(金)17時～
原水爆禁止署名宣伝
大塚駅南口
- 7月26日(土)時間未定
国民平和大行進
豊島～文京コース
東池袋中央公園

豊島区公契約条例制定に向け 第一回検討委員会開催される

豊島区は公契約条例制定に向けて検討委員会を設置し具体的に動き出し、第一回検討委員会が4月21日開催されました。検討委員会の構成は、学識経験者・事業者団体・労働者団体から各2名が選出されており、土建豊島支部から労働者団体として寺島書記が委員として参加しています。高際区長は、昨年6月の区議会で25年度内に条例を制定し来年度の契約から適用させたいと発言しており、このスケジュールからすると9月議会に向け検討が進められると考えられます。

「すでに14区で条例制定」

都内の公契約条例をめぐる状況は、23区で14区、26市で3市あわせて17自治体に広がっています。公契約条例に基づき、2025年4月からの報酬下限額は、世田谷区の1460円、新宿区で1438円となり1500円が現実のものとなります。この報酬下限額は公契約以外にも自治体に働く会計年度職員や地域の賃金にも良い影響を与えており労働者の賃金底上げが期待されています。区労協としても、より良い条例制定に向け学習会や区議会会派要請などに取り組む予定です。

公務公共一般豊島支部

相談をきっかけに大幅賃上げ勝ち取る

昨年、12月17日に公務公共一般が豊島区社会福祉協議会(社協)と団体交渉を行い大幅賃上げを勝ち取りました。

正規・非正規間の待遇格差があり、経験加算がないこと、勤勉手当が支給されないこと、基本給に大きな格差があることなど、その改善を求めるものでした。

交渉のきっかけは社協で働く非正規労働者からの相談で、「任期付常勤職員」として正規職員とほぼ同じ業務を行っていましたが、

労働相談に来た2人は豊島支部に加入し団体交渉に参加。交渉では法人側から処遇改善に向けて区側と協議するとの前向きな回答を

引き出すことができました。その結果、25年度から賞与が2・1カ月分から、4・15カ月分に大幅引き上げられ、同時に給与の10%の地域手当もつくことになり、大幅賃上げを獲得することができました。さらに、4回更新5年上限となっていた雇用更新限度も撤廃されることになりました。大幅な労働条件の改善につながっています。公務公共ではこのような取り組みを力にして組合の拡大を進めていきます。(公務公共一般ニュースより概要転載)

未来は変えられる

戦争ではなく平和を！

憲法集会に3万8千人

5月3日、江東区にある東京臨海広域防災公園で憲法集会が開催され3万8千人が参加しました。区労協加盟団体からも土建・区職労・法会労などから参加しました。

主催者挨拶では「幾度もの憲法改悪の危機を跳ね返してこられたのは、憲法集会を中心とした市民の粘り強い運動があったからだ」としてさらに運動を広げようと呼びかけました。当日はノーベル平和賞を受賞した、日本原水爆被害者団体協議会の田中熙巳代表が発言し「世界は核戦争が始まるかもしれない危険な状況にある」として、これまでの核兵器廃絶の運動をさらに広げてほしいと訴えました。集会後は憲法改悪反対をアピールしデモ行進しました。



戦後・被爆80年

日本被団協ノーベル平和賞受賞記念講演

あの夏の絵

公演

今年は戦後80年、そしてヒロシマ・ナガサキに原爆が投下され80年目を迎えます。

北部春闘共闘会議では、今年80年という節目の年にあたり、青年劇場の『あの夏の絵』の公演に取り組むこととなりました。ロシアによるウクライナへの武力攻撃や、イスラエルによるガザ地区への攻撃が行われ、核戦争が起こりかねない状

況です。また、日本でも安倍政権以来憲法を無視し戦争準備が着々と進められています。

このような情勢の下で今回の公演を通じて多くの人たちが、とりわけ次代を担う青年や子どもなどにも、この観劇を通じて、改めて核兵器のこと、そして

2025国民平和進行

5月6日、夢の島公園第五福竜丸展示館前で2025国民平和進行スタート集会が行われました。当日は終始雨の降る中でしたが、行進一日目のゴール地点日比谷公園を目指して、元気よく核兵器廃絶を訴え行進しました。この行動には東京土建豊島支部・豊島区職労・豊島平和委員会・新婦人豊島支部などから参加しました。



平和の大切さを学んでほしいと企画しました。各組合を通じて配券を予定しています。ご協力お願いします。

日時 8月4日(月)16時
場所 北とびあ(最寄り駅 JR王子駅)

